族譜（1978）

族譜

メディア 映画
ジャンル
製作国　韓国
公開情報 劇場未公開・ＮＨＫ教育で放映

【解説】
　韓国現代史により添う形で、エネルギッシュに、社会的テーマを持った娯楽性を量産してきたイム・グォンテク（林權澤）が、日本の異能の大衆作家＝梶山李之の純文学作品を映画化したもの。日帝時代、創氏改名の手続きを行う若い日本人の役人（河明中）が、薛（ソル）一族が地主である地域に赴き、頭首の気高い人格と、その娘の美しさに惹かれ、朝鮮人の「族譜」に対する思いに気づかされるが、彼の立場では頭首を説得する他ない。頑なに改名を拒んでいた頭首も家族を想って、最後には了承するが、それは彼の死をも意味することだった。林作品としても最もメッセージ性の強い映画で、頭首の朱善泰の抱擁力ある演技は特筆に価する。

【クレジット】
監督　イム・グォンテク　Im Kwon Taek
出演　朱善泰
　　河明中

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.